

2016年度活動報告

地域社会とともに

よき企業市民として、皆さまとのコミュニケーションを大切に、地域社会の発展に貢献する取り組みを行っています。



社会貢献の考え方

マルハニチログループは、地域文化を尊重し、社会の一員としての役割を果たすことを目的に、社会貢献方針を策定し、「食育」「文化・教育」「地域貢献」「環境活動」「寄付・寄贈」などをテーマに、全国各地でさまざまな支援活動やイベントに取り組んでいます。今後も各地での活動を継続するとともに、海外での貢献活動も推進していきます。

2016年度の主な活動

「マグロ授業&料理教室」の開催

マルハニチロは、マグロの特徴や生態を学び、そしておいしくいただく「マグロ授業&料理教室」を、2012年から開催しています。

2017年1月21日(土)、親子20名様にご参加いただき、大きなマグロを見て、触って、そして解体したマグロをみんなで料理して、おいしく楽しく食べ尽くし、笑顔あふれる1日となりました。このイベントには、マグロという身近な魚にフォーカスして魚に興味を持ってもらい、それを食育にまで高めていこうという願いが込められています。こうした機会を通じて、これからもより多くの方々に、魚の魅力やおいしさを伝えていきます。



泳ぐ時に格納できるマグロの「背びれ」を観察中

マグロづくしのメニューが完成!

魚食普及イベント「～おいしいしあわせ～ とっておきのお魚弁当教室」を開催

もっと多くの方々に魚食の楽しさ、おいしさを伝え、健康な食生活に役立てていただくことを目的に、スーパーやお魚屋さんで手軽に購入できる、日本人になじみ深い「エビ」「タラ(タラコ)」「シシャモ」を使用して各地の有名シェフが、本イベントのために作ったオリジナルレシピを紹介するお魚弁当教室を、国内4カ所(名古屋、金沢、大阪、広島)で開催しました。

名古屋で

in Nagoya

東邦ガス「クッキングサロン栄」にてイタリア料理店「Settanta」の水口秀介オーナーシェフからオリジナルレシピをご紹介いただきました。



金沢で

in Kanazawa

金沢市企業局ガスショールーム「ガスぽーと」にて「割烹たけし」の桂木健至オーナーシェフから、オリジナルレシピをご紹介いただきました。



大阪で

in Osaka

大阪ガス「ハグミュージアム」にて、ごちそうプロデューサー広里貴子先生から、オリジナルレシピをご紹介いただきました。



広島で

in Hiroshima

広島ガスショールーム「ガストピアセンター」にて「レストラン シمامラ レスプリ・ド・ミクニ」の島村光徳シェフから、オリジナルレシピをご紹介いただきました。



「スーパー・プロフェッショナル・ ハイスクール」研修プログラムの受け入れ

マルハニチログループは、2016年8月、文部科学省の「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール」の指定を受けた静岡県立焼津水産高等学校の研修プログラムの受け入れを行いました。「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール」は、専門高校等において、大学・研究機関・企業との連携強化により、社会の変化や産業の動向に対応した高度な知識・技能を身に付け、社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成することを目的としています。当校の研修は、2016年で3年目、当プログラム最終年度となりました。



海外インターンシップ(タイ)



業務用商品の開発についての研修(日本)

「思い出缶詰づくり」を実施

さまざまな種類の缶詰を製造・販売しているマルハニチロは、缶に手紙や宝物など自分の好きな物を詰めて手作りラベルを貼り、ふたをしてオリジナルの缶詰をつくる「思い出缶詰づくり」を実施しています。2008年の開始以降、延べ5,200人以上の皆さまにご参加いただいています。

2016年度は、18回、1,600人の子どもたちが缶詰づくりに挑戦。2017年3月に実施した近隣の小学校にある学童クラブでの缶詰づくりでは、二十歳の自分に寄せたメッセージや一人ひとりの思い出や宝物を詰めた缶詰づくりしました。



完成した缶詰

「MOTTAINAIキッズフェスティバル @イオンモール沖縄ライカム」に協賛・参加

マルハニチロは、2016年12月17日(土)、「MOTTAINAIキッズフェスティバル!～地球や自然、モノやお金を大切にすることを学ぼう～」に協賛・参加しました。出店もお買い物も子どもたちだけで行う「キッズフリーマーケット」、さかなクンが



さかなクンのおさかな講座

出演する「おさかな講座」や「料理教室」、「理科実験教室」 「思い出缶詰づくり」など、楽しみながら学べるイベントになり、会場は多くの来場者で賑わいました。

※MOTTAINAIキャンペーン:環境分野で初のノーベル平和賞を受賞したケニア人女性ワンガリ・マータイさんが、2005年の来日の際に感銘を受けたのが「もったいない」という日本語でした。環境3R(リデュース・リユース・リサイクル)+かけがえのない地球資源に対するリスペクト(尊敬の念)「もったいない」。マータイさんはこの美しい日本語を、環境を守る国際語「MOTTAINAI」とし、広めることを提唱。地球環境に負荷をかけないライフスタイルを広め、持続可能な循環型社会の構築をめざす世界的な活動です。

アマモ場再生活動

マルハニチロは、2016年3月に官民連携の取り組みとして、東京湾の環境改善に取り組む国土交通省の「東京湾UMIプロジェクト(東京湾・海をみんなで愛するプロジェクト)」協力企業に選定されました。



このプロジェクトの一環として、水質浄化やCO2削減に役立つアマモを増やして、東京湾を豊かな海に再生するアマモ場再生活動に参加しています。

プランターに種を蒔いて育成する「苗床作り」、その苗の根元に紙粘土を巻き付け、海底に移植する「移植会」に参加したほか、当社単独のイベントとして「花枝採取」を開催するなど、年間を通じて活動を行っています。



※アマモ:水深1～数メートルの沿岸砂泥地に自生する海藻の一種で、群生するアマモ場は潮流を和らげ、外敵から隠れる場所にもなるため、魚類や水中生物などの産卵・生息場所となります。また、富栄養化のもととなる窒素やリンを吸収し水質浄化する役割も果たします。

フードバンク支援

マルハニチログループは、日本でフードバンク活動※を行っているセカンドハーベスト・ジャパンの活動に賛同し、2009年より継続的に寄贈しています。2016年は、計27回約2,800ケースを寄贈しました。



※フードバンク活動:食品企業で、安全に食べることができるにもかかわらず、さまざまな理由で流通が困難になった商品を、女性シェルターや児童養護施設等の生活困窮者へ無償で提供する活動